

財政福祉委員会 説明資料

<目次>

- 1 「今後の名古屋市総合リハビリテーションセンターの役割
検討に係る懇談会意見まとめ」の概要 1 頁
- 2 総合リハビリテーションセンターの主な福祉部門における
医療職の配置状況 2 頁

令和5年9月25日

健康福祉局

1 「今後の名古屋市総合リハビリテーションセンターの役割検討に係る懇談会意見まとめ」の概要

(1) 趣 旨

障害者医療・福祉の一層の充実・向上を図るため、今後の名古屋市総合リハビリテーションセンターの役割を検討することを目的として設置し、令和4年11月に意見をまとめたもの。

(2) 懇談会委員

学識経験者（3名）、医療・福祉関係者（4名）、障害当事者（3名）

(3) 今後の課題

- ・人材育成やノウハウの提供など、更なる地域への貢献
- ・特色のある新たなリハビリテーション医療の検討
- ・適切な職員配置の検討
- ・収支状況の改善

(4) 今後推進すべき役割

附属病院の市立大学病院化を見据え、福祉部門と連携のうえ、障害者リハビリテーションの中核施設として、以下の公的な役割を充実・強化していく。

- ・障害者リハビリテーションの中核施設として、地域リハビリテーションを推進し、地域共生社会の実現に貢献する。
- ・障害者リハビリテーションに関する医療機能・研究・人材育成の充実を図る。
- ・相談から医療・訓練を経て、社会復帰に至るまでの総合的・一体的、かつ一貫性のあるリハビリテーションサービスを安定的・継続的に提供する。

2 総合リハビリテーションセンターの主な福祉部門における 医療職の配置状況

(単位：人)

区 分	障害者支援施設	高次脳機能障害 支援センター
医 師	兼務 0.3	兼務 0.5
看 護 師	専任 2.0	兼務 0.5
理学療法士	兼務 1.0	—
作業療法士	兼務 1.0	兼務 0.5
臨床心理士	専任 1.0	兼務 1.0
言語聴覚士	—	兼務 0.5

注1：令和5年4月1日現在

注2：人数は、福祉部門に配置されている職員の勤務時間を1人当たりの総勤務時間で除して算定した人数

